



# 山層雲峡ビヅターセンター



【クマタカ～5月】雌雄同色のクマタカ、全長約80cm、翼開長約170cm(オオワシ・オジロワシよりやや小さめで)、生態は周年で谷ひだに富んだ山地の森林のほぼ全道に生息しています。通常は森林内を潜行移動することが多く、中々お目にかかれません。鳴き声は「ピッピー」「ピョー」「ピェッ」とややかん高いです。主に、エゾライチョウやエゾリス、ヘビを捕食しますが、時折、今回のようにエゾシカの残滓(ざんし・残りかす)を食べることもあります。おこぼれにあずかろうと飛来したようですが、ただでさえ「ハシブトガラス」にモビング(やかましく鳴きたて、突撃するように飛び回る)されますが、当然のごとく激しく追い回され、とうとうあきらめて去ってしまいました。





【キバシリの巣作り～4月】

スズメとほぼ同程度の小さな体、雌雄同色でゴジュウカラ同様に頭を下に向けて幹を降りることができない野鳥です。特徴は、細く長くちばしで下に湾曲しています。生態は周年で平地から山地の針葉樹林、針広混交林に生息し全道的にいますが数は多くありません。針葉樹の樹皮が大きく剥がれた部分の裏側に巣を造ります。作成過程では樹皮が膨らみますが、なるべく膨らみを隠すため巣も圧縮して目立たなくしているようです。

【ミソサザイの巣作り～4月】

体長約 10 cm と日本でも 1、2 を争うほど小さい鳥です。雌雄同色で生態は周年、針葉樹林の苔むした地上や溪流沿いに生息しています。チュリリリリ等と大きくよく通る美声の持ち主です。倒木の下や川の縁に巣を造りますが、同時進行的に複数の巣を造り、最終的には雌がお気に入りへの巣を決めて産卵します。稀に高山のハイマツ帯にも生息しています。

【カラスの仕業・・・～5月】 エゾモモンガの樹洞から巣材が・・・。前日同じ場所を通りかかった時に樹上にカラスがいましたが…嫌な予感はしていましたが荒らされたようです。無事に逃げ延びていればよいのですが・・・。

天敵が多く、モモンガもたいへんなのです。

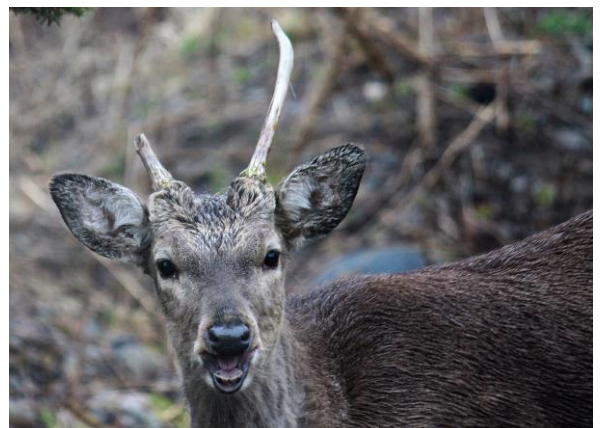


【エゾシカの角研ぎ～4月】

エゾシカの角は皮膚に包まれて発達し(袋角)伸び出して中に骨が作られると、最後に皮膚が破れて完成します。その際にシカは角を樹木の幹に当てて、こするようにして皮膚をはぎ取り、また角の表面を磨きます。これをシカの角研ぎといわれています。角は、天敵に対する武器として使われるとも考えられていますが、集団での地位確認や(角の立派さで地位を決めている)、雌や餌場の取り合いなどの場合に、雄同士の威嚇やケンカの武器として使われているようです。

【非対称のエゾシカの角～5月】

エゾシカの角は、産まれてすぐにはなく1歳頃から生え始めます。春先には抜け落ち(落角)、新たにまた生え始めます。段階的に角は2又に分かれし、翌年に3又、そして次の年に最終的な4又の状態に成熟した大人となります。写真は上記の角研ぎの文章にもありますが、袋角の状態から皮膚が破れて角が見えたものですが、明らかに左右非対称です。また、わかりづらいですが角の生え際も違います。原因は不明ですが、栄養状態なのか遺伝なのか、袋角の時の怪我なのか・・・。最近、この奇形?をみかける頻度が多くなっています・・・。







【エゾモモンガ～5月】砂利道道路を通過中、樹洞から……。出巢時間ではない(16時)ことで疑問に思いましたが、振動で驚いたのでしょくか？モモンガは夜行性のため日の入り後と日の出直後(排泄のため)に出巢しますが(繁殖期等はこの限りではありません)、近寄っても巣に戻る気配もなし……。繁殖期も過ぎているため？？？しばし耳を澄ましてみると、本来の鳴き声(ジージー)とは別の鳴き声が……。この場所は民家のすぐそば、モモンガは意外と身近な所にも生息しているのです。しかし、巣穴も低くこれでは…。



【ジョウビタキ～5月】センター周辺にジョウビタキの雄が……。北海道では非常に珍しく数少ない旅鳥とされています。が、2012年6月と2019年8月にも飛来しており、しかも繁殖まで……。今回繁殖が確認できれば3例目、なんと待ち遠しい出来事でした。

【オオタカの狩り～4月】

オオタカがヒヨドリを狙って住宅街に入ってきたようです。主に狙っているものはハトくらい大きさの鳥、獲物が余れば倒木の上などに貯蔵することもあります。時には「エゾユキウサギ」や「エゾリス」も捕まえることがあり、また同属のハイタカを捕食することもあります。しかし、逆に「クマタカ」や「フクロウ」などに捕食されてしまうことも……。小型の鳥類などは、タカの怖さを種類ごとによく知っているといわれ、小鳥の動きでタカの出現がわかるほどです。ちなみに、トビがきても知らん顔です。



【エゾリス～5月】

遠目にエゾリスが。こちらの姿に気づき警戒している模様……。なにやら意味不明な威嚇音、しかし、その姿勢は踊っているかのような実に滑稽な動きでした。



【レンズ雲～5月】5月初旬の夕方に、大雪山連峰上空に複数のレンズ雲が現れました。つるし雲とも呼ばれていますが、山岳地帯において風や地形の影響により山頂付近を湿った空気が昇る際に断熱冷却されてできる現象です。山岳波の振動が上空の気流にも影響して、写真のように二重三重になることもあります。上空の風が強い時に発生しますが、多くの場合、強風や天候悪化の前兆といわれています。但し、同一地点の雲でも様々なものがあり、中には好天の前兆とされているものもあります。この日はテレビや各種SNSでも随分と取り上げられていました。



2020年度・ビジター講座

6/14・7/26～季節の観察会(場所未定)  
8月以降は追ってお知らせいたします。

★★観察会は事前申し込みが必要です★★  
★★詳細についてはお問合せください★★



折って切って開いたら、あらすテキ♪  
子供から大人まで楽しめます。  
参加自由・無料/申し込みは不要です

■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示

皆様のお越しをお待ちしております。

【場所】ビジターセンターレクチャールーム

(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

1きものカレンダー

3月↓		5月↓		上川・層雲峡気象↓	
3/21	レンズ雲 上	5/3	コブシ開花(昨年4/29) カタクリ開花(昨年5/6) 上	3/21	上川町降雪10cm 上
3/22	エゾモモンガ、ハクチョウ 上		エゾヤマザクラ開花(昨年5/5) 上	3/23	層雲峡降雪18cm 上川町13cm 上
3/25	マヒワ、ベニヒワ、キレンジャク 上	5/4	シメ巢造り、エゾアカガエル 上	3/27	上川町 日最高気温12.5℃ 3月観測史上5位 上
3/26	エゾモモンガ 上	5/5	ミヤマエンレイソウ開花(昨年5/6)、モズ 上	3/31	上川町 月平均気温(高)-1.5℃ 3月観測史上4位 上
3/27	日暈、マヒワ、疥癬病のキタキツネ 上	5/6	シメ、幻の滝・白蛇の滝流れる 層	3/31	上川町 月日照時間(多)157.8h 3月観測史上3位 上
3/28	ベニヒワ、キレンジャク 上	5/7	エゾタヌキ、キタキツネ(層) 上	3/31	3月降雪量 層雲峡117cm 上川 88cm 上
3/29	アオサギ、ホオジロ 上	5/8	エゾユキウサギ 上	3/31	昨年同月 層雲峡125cm 上川 88cm 上
3/30	ウツつがい、シマエナガ、キタキツネ 上	5/9	ジョウビタキ、エゾムラサキツツジ開花(昨年5/8) 層	3/31	3月積雪深 層雲峡109cm 上川 61cm 上
3/31	日暈、オオアカゲラ繁殖期、エゾクロテン、福寿草開花 福寿草 昨年4/9 上	5/10	エゾユキウサギ 上	3/31	昨年同月 層雲峡107cm 上川 79cm 上
4月↓		5/11	エゾタヌキ、仔キツネ、エゾモモンガ 上	4/4	上川町積雪ゼロ 昨年4/15 上
4/1	日暈、キレンジャク群れ 上	5/12	アカハラつがい、カシラダかつがい、キビタキつがい 上	4/9	層雲峡降雪10cm 上
4/3	キレンジャク、ハクチョウ群れ 上		キタキツネ 上	4/21	上川町 一時あられ 上
4/4	エゾモモンガ 上	5/13	ヤマシギ 上	4/22	層雲峡積雪ゼロ 昨年4/30 上
4/5	ノスリ 上	5/14	エゾユキウサギ、エゾヤマザクラ開花(層)(昨年5/15) 上	4/28	上川町断続的にあられ 上
4/6	キレンジャク 層	5/15	クロツグミつがい、オオジシギ、キタキツネ 上	5/3	上川町日最高気温23.5℃ 層雲峡20℃ 上
4/7	ベニヒワ群れ 上	5/16	ツミ 上	5/4	上川町 日最大10分間降水量2.0mm 5月観測史上4位 上
4/8	エゾクロテン 上	5/17	エゾクロテン 層	5/5	層雲峡一時雪 時折吹雪 上
4/9	シマエナガ巢造り 上	5/18	日暈、コサメビタキ 上	5/8	複数のレンズ雲 上
4/10	キレンジャク、ヒバリ 上	5/19	ツツドリ、ツツドリ赤色型、ヒガシニホントカゲ 上	5/9	複数のレンズ雲、彩雲 上
4/11	キバシリ巢造り、アトリ 上	5/20	日暈、サメビタキ、エゾモモンガ 上	5/11	上川町 日最大10分間降水量4.0mm 5月観測史上2位 上
4/12	エゾリス、コチドリ 上	黒岳気象他↓		5/13	層雲峡、上川町 一時雹 上
4/14	エゾモモンガ、ハクチョウ、ヒグマ足跡 上	3/24	七合目積雪360cm 上	5/18	層雲峡 日最低気温0℃ 上川町-2.9℃ 上
4/15	メジロ、キレンジャク、クマタカ 上	3/31	七合目積雪350cm 上	カレンダー期間 03/21-05/20 観測地：上・上川 層・層雲峡	
4/16	エゾエンゴサク開花(昨年4/17)、ミソサザイ巢造り 上	4/1	七合目積雪340cm 上	 <p>強風に耐えて・・・</p>	
4/17	彩雲、ヤマシギ、エゾノリュウキンカ開花(昨年4/21) 上	4/3	七合目積雪330cm 上		
4/17	ヒメイチゲ開花(昨年5/6) 上	4/6	七合目積雪335cm 上		
4/18	エゾモモンガ・カラスに襲われる、ミズバショウ開花(昨年4/21) 上	4/7	七合目積雪330cm 上		
4/20	エゾユキウサギ繁殖期、ノビタキ 上	4/8	七合目積雪345cm 上		
4/22	ヒグマ足跡、ウグイス 上	4/9	七合目積雪340cm 上		
4/24	ルリビタキ、オオタカ・ヒヨドリ襲う 上	4/10	七合目積雪350cm 上		
4/25	モズつがい、キセキレイ巢造り、クマタカ 上	4/14	七合目積雪340cm 上		
4/26	エゾリス、エゾアカガエル、ルリビタキ(層) 上	4/17	七合目積雪350cm 上		
4/27	クロツグミ、オオルリ、シマリス、オオジシギ 上	4/18	七合目積雪340cm 上		
4/28	エゾタヌキ、モズつがい 層	4/19	七合目積雪330cm 上		
4/29	ノスリ 層	4/23	七合目積雪340cm 上		
4/30	エゾモモンガ、疥癬病のキタキツネ 上	4/24	七合目積雪350cm 上		
5月↓		4/25	七合目積雪355cm 上		
5/1	エゾタヌキ 層	4/26	七合目積雪350cm 上		
5/2	センター周辺 ジョウビタキ雄 層	4/27	七合目積雪360cm 上		
	2012.6・2019.8に続き3度目の確認 上	4/28	七合目積雪365cm 上		
	ヤブサメ、クマタカ 上	4/29	七合目積雪380cm 上		
5/3	エゾリス、ヒメイチゲ開花(上 昨年5/6) 層	4/30	七合目積雪390cm(昨年330cm) 上		
	センダイムシクイ、アカハラ、クロツグミ 上		5/1以降 新型コロナウイルス感染症防止の為 上		
	エゾムラサキツツジ開花(昨年4/30) 上		ロープ・リフト臨時休業(5/7～夏山切り替え工事) 上		

発行:大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～5月/9:00～17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2020年05月25日発行 M・K

【層雲峡峡谷にもサクラが～5月】開花確認が5/14、昨年は5/15、ほぼ同時期に開花となりました。キビタキ、オオルリ等の野鳥も活発に～。



白黒紙面でご覧の皆様へ～ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。